



2022年 11月15日
第74号

JR 東労組 Yokohama

JR東労組横浜地本

発行人 助川一実

編集情宣担当

ホームページ

<http://www.jreu-yokohama1.jp/>



2022年度年末手当 労働実感・生活実感を無視した低額回答を許さず 満額回答を求め最後までたたかい抜く「横浜地本緊急集会」

11月14日



交渉団でもある
中央本部田崎
組織・研修部長から
団体交渉報告！

超低額回答に怒り！怒り！怒り！

「現場の苦勞を何もわかっていない！」11名から怒りの発言！！

- ・会社回答に怒りしかない！組合員の奥さんから「役員報酬をカットしていないのになぜしわ寄せがウチにくるのか？そんなに経営がヤバいなら新宿のビルを売れ！赤字会社のビルとは思えない！」との声。社員と家族に怒りしか与えない回答。
- ・運輸職場では駅業務との融合や兼務・連携、ジョブローテーションを担ってきた。営業職場では、お客さまの増加を肌で感じているが、会社の方針で窓口閉鎖、長蛇の列となり丁寧な接客と発券速度と相反することを求められて苦悩している。それぞれの系統で黒字に向けた努力をしている。車両センターでは大幅な要員削減、過度な出張・研修・委員会・マイプロで働くゆとりをなくしている。そのような中での検査切れ。業務がひっ迫し無理を重ねてどうにか黒字化を達成したのに「目標に達していない」と低額回答をするだけでなく更なる無理強いをしている。怒りしかない！
- ・18春闘以降4年間反省してきた。この「低額回答」が「JR東労組を抜けた最大のデメリット」と未加入者にも迫らなくてはならない！
- ・10月から組織再編。少ない人数でもっと働けということか。組織拡大し本部を支える！
- ・社友会会員も本当は「不満」に思っている。組合だからできる交渉。社友会会員にも話していく。
- ・毎月イベント。お客さまをいかに楽しませるか、苦勞し低コストで頑張っている。今回の回答でやる気なくなる。
- ・「回答書」を読んで「これまで頑張ってもらったけど、働き度が足りないからもっと働け！働け！」と上から言われていると感じる。萎える。統括センター化で一人ひとりの負担は増えているのに、わかっていない。心外。賃貸補助もなくなり、物価上昇もあり、年末手当ももらえないとなると生活が厳しい。
- ・本部交渉団の報告を聞いて、私たちの声を会社にぶつけてもらっている。職場で弱気なことは言っていない。本部を職場から支える。

現場の努力を足蹴にする経営姿勢に立ち向かい、最後までたたかい抜こう！